

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

病院だより

第9号

2013.4

No. 9

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)





市立総合病院 院長 博 ひろし
院おか 岡
たて 館

最近読んだ本の中で、先義後利という言葉に出会いました。解説によると、義とは自分の役割を果たし、更に、広く社会の進歩と向上を第一義に行動し、公益のために働くことであり、そのことによって必ず利はついて来るものであるとのことでした。

このたび、病院としての一つの目標であった、公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定を取得出来たのは、職員一人一人の病院に対する正に義ではなかったのかと思っております。当院の理念である「患者さんの安心と満足が得られる医療の展開」へ一歩でも近づきたいという義の表れと自負しております。こうして県内では18番目の認定となり、ようやく地域中核病院としての形が出来ました。

今後は、これに満足すること無く、職員一丸となって市民の皆様へ愛される病院作りに取り組んで行きたいと思っております。引き続き、市民の皆様への叱咤激励をよろしく願います。



市立扇田病院 院長 樹 直 きの
院な 本
お 大

長く厳しかった冬も去り、期待あふれる新年度が始まります。4月1日には医師や職員の異動があり外来・病棟の顔ぶれも変わります。慣れ親しんだ職員との別れはつらいものですが、それがまた新しい出会いを生み、そして新しい挑戦こそ、さらなる進化への道りと理解しています。

「内科と外科を統合した診療」を開始して2年目に入りますが、今年度は内科医師が一人増えての診療体制となります。更に4月から8月までは、総合病院から2年目の研修医も診療に参加し、活気あふれる病院になることと思っております。

一方で病院本体は建設してから約30年が経過し、様々な障害が出てきています。

今年度は外来棟の暖房を再生可能エネルギーであるペレットボイラーシステムに一新する予定です。冬期間の外来待合で寒い思いをされたかたには大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様に気持ち良く利用していただける病院を目指して、少しずつ改善に取り組んで行きますので、ご理解とご協力を願います。

院内活動報告

第6回

緩和ケアチーム



昨年度行った、『もっともっと知ろう緩和ケア(患者さん向け講演会)』の様子です

皆さん「緩和ケア」をご存知ですか？

人はがんに侵されると、我慢できないほどの痛みや吐気等の身体的な辛さ、不安や抑うつ等の精神的なショック、治療にともなう高額な医療費負担、仕事との両立が困難になるなどの社会的孤立、「何故自分だけが病気になったのか」と自身の生きている意味や目的を問う悩みなど、様々な苦痛を受けることがあります。このような苦痛を抱えることは、患者さんやご家族が前向きに療養に取り組むことを大変困難なものになります。

当院ではそのような患者さんやご家族に向けて、**緩和ケアチーム**(専門の医師、

薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士、臨床心理士、医療相談員)と呼ばれる多職種のスタッフによるケアを提供しています。しかし、この**緩和ケアチーム**による緩和ケアを希望するかたは、まだまだ多くありません。

がんになっても、痛みを和らげることができ、より穏やかな生活を送ることができ、一人でも苦痛を抱え込まないようにしてください。緩和ケアを受けた方は、担当医、担当看護師、または相談支援センターまでお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

日本医療機能評価機構 認定病院Ver.6.0 を取得しました



認定報告会の様子

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場で、定められた一律の評価項目に沿って病院の活動状況の評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質の向上が図られます。

総合病院では、昨年の9月24日から26日までの3日間にわたり、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、同機構の評価委員会における審議を経て、今年の1月18日付けで認定証が交付されました。

この認定証が交付された時点で、全国の病院機能評価の認定病院数は合計で2,408病院、全国病院数8,580病院に対する割合は約28%になります。

認定に向けては、「患者さんの安心と満足が得られる医療の展開」を病院理念に掲げ、「医療の質と安全の向上」を目指して、約1年半にわたり、チーム医療の推進と患者さんとのコミュニケーションの促進、医療チーム間の連携・協力体制の強化、業務を「見える化」するためのマニュアル整備、安全管理・感染対策の強化及び病院全体の環境の整理・改善を精力的に進め、病院機能の向上を図ってきたところであり、第三者機関の評価による認定を受けたことにより、「安心して医療が受けられる病院」として、信頼性を一層高めることができたものと考えています。

今後とも、この取り組みをさらに活かしながら、より質の高い医療サービスの提供に努めていきます。



「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を、紹介していきます。



会計窓口付近の 長椅子の配置について見直しを!

2脚の長椅子がくっついて並べられていて、奥に座りづらく通り抜けにも不便です。

また、奥に座ると呼ばれても移動が大変です。

長椅子は、1脚づつ離して置いてはどうでしょうか。
(1月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。
この度ご指摘頂いた件について、
ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。

早速、一部の長椅子を除いて、1脚ずつ離して配置するよう改善しています。今後とも、患者さんや来院されるかたが、安全・快適に過ごせるよう努めて参りますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

具合が悪いときは、 採血室ではなく各外来で採血を!

具合が悪いため歩くのが大変なのに、採血のため採血室まで歩かなくてはなりません。外来でも採血できないでしょうか。

病院の玄関から外来までの距離ですら歩くのが大変なのに、さらに歩かされて、また戻るは辛いです。
(昨年9月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。

当院では、移動にリスクがある患者さん、重症の患者さんについては各外来にて採血を行う対応をしています。今回の対応は、患者さんの状態から判断すると、外来で採血すべきと考えられることから、配慮が不足し、大変申し訳ございませんでした。

このほかにも様々な理由で、移動が辛いかたが多くいらっしゃいますので、今後は車椅子による移動など、患者さんの支援のあり方について検討して参ります。

医師・看護師が 親切にしてくれました。 また、給食はとても美味しいです。

私は70歳代の女性です。

入院中、医師が病状や手術などについて親切に教えてくれました。また、看護師も優しくしてくれました。

ごはんもちょうど良い量で、おかずは薄味でとても美味しく頂きました。

(昨年10月に投函されたかたのご意見)



病院から

ご意見ありがとうございます。
このたびは、職員の対応と給食について、お褒めの言葉を頂きありがとうございました。

当院では、職員の対応について、患者サービス委員会を中心に、患者さんに寄り添い、少しでも不安なお気持ちを和らげるよう、職員の意識向上に取り組んでいます。

また、給食については、患者さんの状態にあわせた献立に心がけるとともに、食べやすさ・量・色彩などについて検討会・試食会を行い、患者さんが安心して召し上がって頂けるよう取り組んでいます。

今後とも、患者さんからこのようなお褒めの言葉を頂けるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

職員の対応が上から目線ですね! 接遇面を再検討しては。

説明の仕方が、かなり上から目線ですね。聞いていて驚きました。

接遇面を再検討して下さい。今後の総合病院の行方にかかわって来ます。

(昨年10月に投函されたかたのご意見)



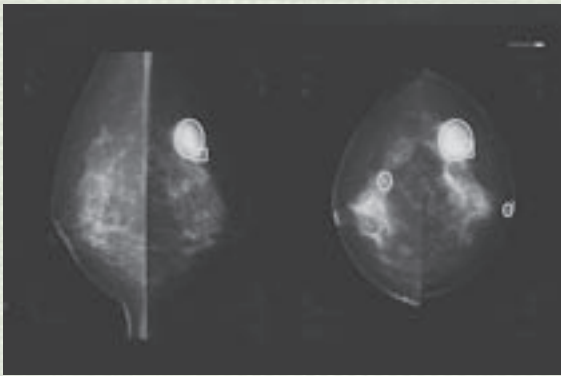
病院から

ご意見ありがとうございます。

この度、当院職員がおこなった説明に際して、不快な思いを与えてしまい、大変申し訳ございませんでした。

不安を抱えて受診される患者さんに配慮し、説明する際にも患者さんの目線に立つて行なうべきでした。

今までも、接遇については「傾聴を基本とし患者さんに寄り添った対応」を心がけるよう、折にふれて指導や教育を行ってまいりましたが、まだまだ至らないところもあり、引き続き接遇研修や各部門における訓練を強化して接遇の向上に努めて参ります。



コンピューターの目で組織の変化を指摘します。



最新の乳房X線撮影装置と女性技師

マンモグラフィ装置を

更新しました

近年、食生活の欧米化（肥満者の増加など）に伴い、日本でも乳がんになる女性が増えています。現在、女性のがんの罹患率の第一位が乳がんとなっていて、乳がん検診を受診する方も多く、短時間で、負担の少ない検査が求められています。

このため当院では、昨年12月最新鋭の乳房X線撮影装置（マンモグラフィ装置）に更新しました。最新のFPD（フラットパネルディテクタ）を使った装置で、画像の撮影に要する時間が従来の約30秒から約8秒へと大幅に減り、検査時間が短縮され、身体的、精神的負担が軽くなりました。

装置の更新にあわせて、撮影室も一新し、更衣室も新しく設け、他の患者さんとの接触も少なくなり、全体的に明るく、落ち着いた検査のできる空間となっています。

当院では、検診マンモグラフィ撮影認定技師が9名、女性技師が2名おり、さらにマンモグラフィ検診施設としても認定されています。主に女性技師が撮影に携わっておりますので、安心して受診してください。

がん診療市民医学講座開催

去る2月23日（土）に、中央公民館で「肝がん」をテーマにした市民医学講座を開催しました。

地域がん診療連携拠点病院である総合病院が、市民の皆さんに「がん」という病気に対する理解を深めて頂くために毎年度二回行っているものです。

24年度の第二回目の講座では、特別講演として弘前大学医学部消化器外科 袴田健一教授から「肝がんの診断と治療」について、総合病院 小笠原仁部長からは「肝疾患と肝がん」について解説を行い、最後に参加した市民の皆さんが疑問に思っている点などについて質疑応答を行いました。

今後も、皆さんの関心が高い分野を選んで開催する予定です。



お薬のいろんな疑問にお答えします。



お持ちですか？お薬手帳(その2)

前号に続き、お薬手帳の“5つの「い」いこと”について説明します。

3つ目の「い」 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう

- ・体調の変化や気になったこと、医師や薬剤師に相談したいことを書いておきましょう。

4つ目の「い」 一般用医薬品（市販薬、大衆薬）・健康食品も記録しましょう

- ・思いがけない、良くない飲み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります。

5つ目の「い」 いつも携帯、いつも同じ場所に保管しましょう

- ・旅行先で病気になったときや災害時に避難した時、救急の時など、お薬手帳があればあなたが飲んでいる薬を正確に伝えられます。
- ・ご家族にもあなたが薬手帳を持っていることを知らせておきましょう。



扇田病院です!



NSTの活動について



NSTとはNutrition Support Team

(栄養サポートチーム)の略です。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士などの専門職員が集まり、患者さんが良好な栄養状態を保つことを目的に、それぞれの知識や技術を出し合って、チームで患者さんと係っています。

栄養状態が悪化していたり、今後悪化する可能性のある患者さんを早期に発見し治療を進めるなかで、適切な栄養管理をすることは、病気の回復を助けたり、床擦れの予防や早期治癒、感染症予防などに繋がりが大変重要です。

実際の活動は、加齢や病気の後遺症などによる、栄養不良、食欲低下、飲み込みがうまくできないなど、そ

れぞれの患者さんたちの原因を調べて、栄養のバランスと食事のとり方を検討します。さらに、食事摂取状況、身体状況、臨床検査データをもとに現在の栄養療法が適切かを確認し、チームで力を合わせてより良い栄養サポートを目指しています。また、定期的な勉強会や病院食の試食会の開催、NSTニュースの発行で、職員への啓蒙と活動の向上を行っています。

当院は昨年の11月に、第9回秋田県NST研究会における当番世話人を担当し、症例発表や情報交換などで、大変、実り多い結果を得ることができました。今後も各医療機関・施設と連携して、地域に根ざしたNSTの実現を目標に努めていきます。



ホームページを

リニューアルしました

扇田病院ホームページは、この4月1日にリニューアルしました。

より情報を探しやすいホームページとなるよう、サイト構成などを見直しました。

今後も、わかりやすいホームページづくりと適切な情報更新を行ってまいります。

アドレスに変更はありません。



外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器の新患は月・火・金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝神経内科			甲状腺診療		甲状腺診療	10:00まで	10:00まで
小児科							
神経精神科							
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで	9:30まで	10:00まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科		10:00まで					新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ					新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科・矯正歯科							再来は予約制。

※新患はできるだけ紹介状の持参をお願いしています。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科・外科	午前	8:30～11:00					
	午後	急患のみ					
	夕やけ(午後)	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	
整形外科	午前	休診	休診	休診	休診	8:30～11:00	
耳鼻咽喉科	午前	休診	8:30～11:00	休診	休診	休診	
眼科	午前	8:30～11:00					
	午後	検査のかたのみ					

総合病院

整形外科

初診のかたは

紹介状が必要になります

4月1日から

総合病院では、地域の医療機関と協力しながら、初期診療や症状の安定したかたの診療は一次医療機関(かかりつけ医)にお申し、緊急性があるかたや重症なかたの診療を当院が行う地域医療連携を推進しています。

大変ご不便をおかけしますが、地域の医療機関が役割分担して連携することが地域医療を守ることに繋がりますので、皆様のご理解をお願いします。



紹介 しまあ

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は耳、鼻、のどの病気を診療する科です。咽喉とは咽頭・喉頭の略で、のどのことを意味します。耳、鼻、のどの調子が悪い時は、耳鼻咽喉科を受診してください。また、めまいも耳鼻咽喉科で扱うことが多い症状です。なぜならめまいの原因は耳の障害のことが多いからです。耳自体には何の自覚症状もないこともあります。お困りの方はご相談ください。また、睡眠中に激しいいびきをかいたり、呼吸が止まるなどして全身に悪影響を及ぼす睡眠時無呼吸症候群も、鼻やのどに原因がある場合が多く、力を入れて治療しています。

当科の外来診療は医師2人を含めた8人のスタッフで行っておりますが、その診療理念は、**ラブ&ハッスル**です。この言葉には、患者さんに愛をこめて、そして私たちも元気に楽しく働きたいという願いがこもっています。これからもこの様な精神で、皆さんとの両想いを目指して参りたいと思います。また季節季節で、外来の装飾にもこだわって行きたいと考えています。ささやかではありますが、皆さんと大館の四季を共有出来る科受診がなくともぶらりと立ち寄りください。



みんな大好きクリスマス



情熱のハイビスカス



夏といえばひまわり



七夕に願いを



梅雨も嬉しくなる紫陽花



やっぱり桜は最高!

食事と⑤ 病気予防

葉酸もりもり春のお花見料理



食事のポイント

「葉酸」という栄養素をご存知ですか？
葉酸は赤血球の産生、血液や血管の健康に関わる栄養素で、心筋梗塞や脳梗塞、認知症など病気の予防にも有効といわれています。

- * 豆ごはん
- * チヂミ風
- * ミニトマトサラダ
- * フルーツ
- * 春鯉の竜田揚げ
- * えびと菜の花和え物

・エネルギー	650kcal
・たんぱく質	28g
・脂質	18g
・葉酸	350μg



◆おすすめしたい方◆

- 妊婦、授乳婦、貧血ぎみの方
- 飲酒量の多い方、野菜の嫌いな方

◆1日の摂取基準◆

- 成人 240μg 上限 1,000μg

◆多く含まれる食材◆

- 野菜…菜の花 大豆製品…納豆 魚介類…ホタテ貝柱 果物…いちご など

編集後記

今年も厳しい寒さと雪の冬でしたが、やっと暖かさを感じるようになって来ました。春でございます。日本は四季の国ですが、中でも大館はすべての季節をより明確に味わえることの出来る地域の一つです。これを私は“完全四季”と勝手に称しておりますが、そのような土地に生まれたことを本当に嬉しく思います。今号の表紙は扇田病院です。一足早く春本番を感じていただければ嬉しいです。(編集委員長 蒔 苗 公 利)